

石川県内には数多くのNPOが活動しています。当コーナーでは、県内のNPOのリーダーをシリーズでインタビューし、運営上の特色や現状などについて紹介します。今回は、精神障害者の小規模作業所や家族会の支援に取り組む、コスモスの会代表、坂東笑子さんにお話をうかがいました。

「肩の力を抜き、楽しみながら ボランティアに取り組むのが活動の基本」

コスモスの会代表 坂東 笑子さん

他団体との活動の機会も 頻繁に設ける

——コスモスの会では、どのような活動をしていますか。

坂東 珠洲市にある小規模作業所「ワークショップすず」で働く精神障害者と、その家族で構成される「むつみ会」を支援させていただいています。

——現在の会員数は。

坂東 女性を中心に60人います。会には、40代から70代の幅広い年齢層のメンバーが集まり、珠洲市と隣の内浦町の人も参加しています。

——いつ、会を結成したのですか。

坂東 平成8年4月です。能登北部保健福祉センター珠洲地域センターが開いた「ボランティア活動をめざす会」に参加した平成6、7年度のメンタルヘルスボランティア講座の修了者19人で発足しました。

——具体的にどのような支援を。

坂東 年に数回、ワークショップすずや公民館などでのイベントに併せてバザーを開催し、その売り上げ金を寄付しています。ふきんや帽子、リュックサックといった会員や作業所のメンバーの手作りの品を販売してるんですよ。売り上げ金の一部は、日ごろの活動資金にもなっています。今年からは、将来の出費に備えてコスモス基金という名称で、積み立ても始めました。そのほかに、月に一度、お茶会を企画し、精神障害者の人たちとの触れ合いも大事にしています。

——県内ではメンタルヘルスボランティア団体同士の交流が盛んだそうですが。

坂東 ええ。他の団体や障害者の方と合同で、リンゴ狩りやバーベキューに出掛け、意見交換や情報交換の場を設けました。今年

の10月には、石川県メンタルヘルスボランティア連絡協議会も結成される予定で、今まで以上に交流がスムーズになっていきそうです。

会員の共感が活動の原動力に

——会が抱えている課題は。

坂東 会員のみんながいろいろな方面に忙しく、会合を開きたいと思っても、すぐに多くの人が集まらない点ですね。バザーの予定ひとつとっても、即決できません。

——家族の協力も欠かせないでしょう。

坂東 協力とまではいなくても、やはり、家族の理解は必要になってきます。私の場合は、主人がボランティアに理解を示してくれるので本当に助かっています。苦勞する点も少なからずありますが、小規模作業所のメンバーをはじめ、だれかの役に立っているということが、私たちにとって大きな励みになっていますね。

——会としての今後の目標をお聞かせください。

坂東 そうですね、特別大きなことをしたいとは思っていません。以前はメンタルヘルスボランティア講座を修了した人だけが会員となっていました。この会の趣旨に共感していただければ、だれでも入会できるように4年前に規約を改めてから、多くの人が参加してくれています。奥能登でも、精神障害者への理解が深まっていることが分かり、とてもうれしく感じています。これからも、会員のみんなと肩の力を抜いて、楽しく取り組める会の運営を心掛けていきたいと思っています。これが、活動を長く続けていく秘けつでしょうか。

——ありがとうございました。

P R O F I L E

坂東 笑子さん

(ばんどう えみこ)



珠洲市上戸町在住。地区の婦人会会長や健康づくり推進委員などを務めた。平成6年、能登北部保健福祉センター珠洲地域センターが開いたメンタルヘルスボランティア講座を受講。平成8年4月のコスモスの会の発足当初から、会長を務めている。

【お問い合わせ】 コスモスの会
珠洲市上戸町北方7-132-1 TEL0768(82)1470

※この冊子は再生紙を使用しております。

いしかわ

NPO

【特集】
NPO活動支援センター「あいむ」は
みなさんの活動を応援します。

ニュース

●「あいむ」開所記念講演
「NPOの発展のために～
マネジメント論を中心に」

●INFORMATION
NPO・ボランティア情報 助成金ニュース

●リーダーズVOICE
コスモスの会
坂東 笑子さん



石川県



昨年7月に、珠洲市の正院町公民館で開かれたバザー。近辺の人たちが大勢集まりにぎわった。

【特集】NPO活動支援センター「あいむ」はみなさんの活動を応援します。

NPO活動支援センター（愛称「あいむ」）は、県民のみなさんのボランティア活動をはじめとする市民活動を支援するための拠点施設として設置したものです。



「あいむ」はこのようなみなさんの悩みにお応える様々な機能を持っています。お気軽にご利用ください。



●メールボックス

郵便物やファックスの受け取りのほか、チラシの投げ込み等各団体からの情報収集窓口となります。利用希望の団体は職員に申し出てください。



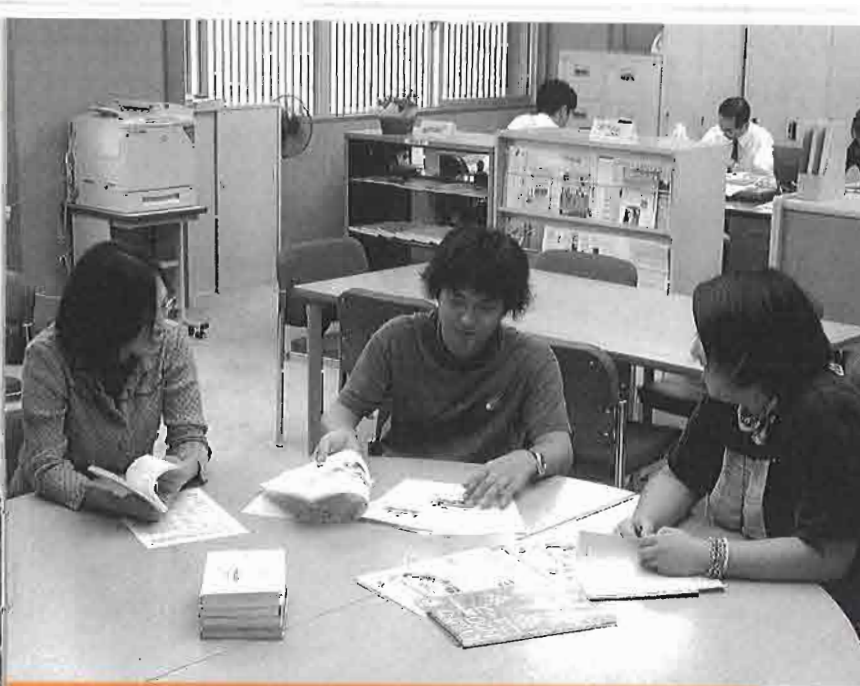
●会議室

14名までの会議が可能です。ホワイトボード、ビデオプロジェクター、スクリーンも備えています。利用希望日の1ヶ月前から予約することができます。



●情報提供コーナー

各団体のポスター等を掲示したり、チラシやパンフレットを自由に置くことができ、センターに集まる他の団体や県民への情報提供ができます。また、このコーナーに来られれば各団体の情報を得ることができます。



●交流コーナー

打ち合わせや図書・雑誌等の閲覧に自由にお使いください。予約は不要です。ポットや茶器も揃えています。

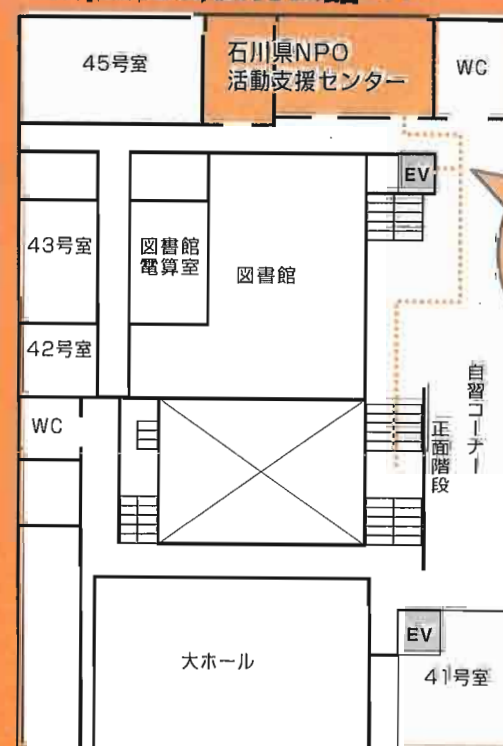


●パソコンコーナー

インターネット検索や文書の作成等が無料でできますが、プリントは有料（1枚10円。ただしカラーは1枚20円。）です。



石川県社会教育会館4F



1Fの正面から入って右側のエレベータを利用すると便利です。



●作業コーナー

印刷機や紙折り機等の機器が利用できますが、印刷機は有料（マスター（原紙）1枚につき100円。）です。



1 事務所機能の一部を代行します。

交流コーナーは、いつでも予約なしに自由に使うことができ、打ち合わせ等が行えます。また、メールボックスの登録を行っていただくことで、団体あての郵便物やファックスの受け取りも代行して行っています。パソコン、コピー、ビデオなどの機材も使い、自由に使用できる茶器等も用意してあります。さらに、各団体が専用で活動に必要な資材等を保管できるロッカーも備えています。

2 会報誌づくり等の作業ができます。

「あいむ」には、会報誌づくり等に必要のパソコン、プリンター、印刷機、丁合機、紙折り機などの機器が備えられています。これらの機器を使えば大量に発行する会報誌の作成も簡単です。A3版まで印刷できますので、チラシやパンフレットづくりにもご利用ください。

3 みなさんの情報拠点です。

「あいむ」の情報提供コーナーでは、各団体が自由にポスター等を掲示したりパンフレットやチラシを置くことができ、他の団体等に情報を伝えたり、他の団体の情報を得たりすることができます。

また、「あいむ」では、ホームページを通じて最新情報を提供しているほか、情報誌「いしかわNPOニュース」を発行し、みなさんへの情報提供に努めています。みなさんからの情報もどんどん載せていきたいと考えていますので、掲載希望がありましたらご連絡をお願いします。

4 ネットワークの応援をします。

各団体が「あいむ」に集まり出会うことで、自然なネットワークが形成されます。「あいむ」でどんどん交流を広げてください。また、インターネット上に電子会議室を設け、県内の全てのNPO等の交流や情報交換が進むよう現在その準備を進めています。

このほか、「あいむ」の利用に関しては、「利用ガイド」又はホームページをご覧ください。

「あいむ」は、英語のI'mにちなんだ愛称です。意志を持って自ら行動する県民の姿を表現しています。また、「あい」は石川（Ishikawa）の頭文字の「i」や愛。「む」は夢を意味しています。





石川県NPO活動支援センター「あいむ」開所記念講演

「NPOの発展のために ~マネジメント論を中心に」

■講師：NPO事業サポートセンター 常務理事 田中 尚輝氏
 ■日時：平成13年8月4日(土) ■会場：県社会教育センター

ボランティアやNPO活動に対する、社会の期待と関心が年々高まってきています。去る8月4日、県NPO活動支援センター「あいむ」の開所を記念して開かれた講演会で、NPO事業サポートセンター常務理事の田中尚輝氏が、NPO団体がそうした期待にこたえていくためには、組織としての成長とマネジメントが重要と強調しました。

「力」のあるNPOになるために

今回はNPO全体の問題の中でも、特にマネジメントの面についてお話をさせていただきます。現在NPOは行政や社会全体から注目されています。雇用の受け皿として、または、子育て支援や介護サービスの担い手としてなど、行政や社会には、社会的な問題に対して、NPOに解決の中心になってほしいという期待があります。また、個々人の生き方が問われる時代にあって、社会の役に立ち、自己実現を図る手段としても、NPO活動に対するニーズはあるといえるでしょう。

お金の大切さを認識し 経過より結果を重視

NPOが「力」を持たなければ、そうした社会の期待にこたえる具体的な行動を起こせず、早晚、信頼を失うこととなります。この「力」とは、ヒト、モノ、カネ、情報のことであり、これらを持つにはマネジメント、つまり団体を上手に運営・経営していく能力が欠かせません。

日本のボランティア団体では、お金の話をすると嫌がられますし、全体にお金を蔑視する風潮があります。しかし、活動を続けていくためには、どうしても経費がかかります。スタッフの生活費もそうですし、人材を動かすためには、独立した事務所と有給の職員も必要です。ボランティアやNPOが活動するのは、活動によって目的(ミッション)を達成するためですから、それを効率的に実現するために、マネジメントがあるのです。

ボランティアやNPOが尊いのは、目標に向かって活動しているからではなく、活動によって成果を生み出しているからです。自己満足ではなく、結果を大事にしてほしい。社会から求められるNPOになるためには、やはり、活動に事業性を持たすべきでしょう。小規模なボランティアを、大規模なNPOにしていくのは大変な苦勞が伴いますが、工夫しながら成長をとげているNPOはたくさんあります。

自立した活動のために 事業収入の確保を

NPOの力強い成長に欠かせない、団体の財務についても触れておきます。アメリカのNPOの収入は、平均して、事業収入が50%、寄付収入が20%、助成金が30%となっています。

ここで私が強調しておきたいのは、事業収入が50%を占めている点です。日本のNPOは、事業収入の割合を高めていく努力が必要だといえるでしょう。

NPOは、果たすべき本来の目的とそのために必要なお金について考え、収益活動を日常化して、コンスタントに事業収入を確保しなければなりません。助成金をもらうのも結構ですが、それに収入を頼りすぎると、結局は、行政に活動をコントロールされることになり、それではNPOというより、行政の下部組織にしか過ぎません。行政ができないことを自分たちでやるのがNPOですから、サービスのためにかかったお金を収益で埋めるのは当然のことです。行政は事業にお金を出すよりも、NPOが自由に活動できる環境づくりを進めるべきだと考えます。

NPOも、企業と同じ「事業」を展開しているという感覚を持ってください。自力である程度の収入を確保できれば、自立した活動ができます。広く活動するためには、予算の規模も当然広がってきますから、充実した活動をするためには、収入確保は決して避けては通れない問題だと思えます。



リーダーとはリスクを負う存在

最後に、リーダーについて話をします。「何事もみんなで決める」という団体は、何かをしようとするたびに全員の承認を取らなければならないわけですから、逆に大きな発展は望めません。団体の中で反対があっても、目的の達成のために必要なことを実行できるリーダーがいなければなりません。

リーダーとは、活動で発生するリスクを負担できる人のことです。NPOは事業性を持ちますから、そこには必ずリスクが伴います。活動の成功・不成功すべての責任を負い、団体のために努力できるリーダーを作り上げることが、NPOの発展には不可欠だといえるでしょう。

田中 尚輝 (たなか なおき)

81年、全国高齢化社会研究協会、88年、社団法人長寿社会文化協会を設立。99年、NPO事業サポートセンターの設立と同時に、常務理事兼事務局長に就任、現在に至る。特定非営利活動法人福祉交通支援センター会長、市民互助団体全国協議会事務局長も兼務。

INFORMATION

県からのお知らせ

NPOフォーラム及びNPO・市民活動シンポジウム開催事業の企画案募集

次の二つの事業の企画案を募集しています。
提案のあった企画案の中から、それぞれ最も効果的と認められる企画案を選定し、提案団体にその企画案の実施に関する業務を委託します。是非、ご応募ください。

- 事業目的
 - (1) NPOフォーラム開催事業
市民活動団体、ボランティア団体をはじめとするNPO等の相互交流や情報交換を通じて、各団体の活動の客観的評価を促進するとともに、互いのネットワークを構築し、その活動の拡大、発展を図ることを目的とします。
 - (2) NPO・市民活動シンポジウム開催事業
県民のNPOへの認識や理解を深めることにより、NPO活動への参加や助成などの支援についてのコンセンサスを形成することを目的とします。
 - 応募資格/県内に主たる事務所を有するNPO（法人格の有無を問わない。複数のNPOで構成する実行委員会等を含む）であること。
 - 委託経費/
 - (1) NPOフォーラム開催事業 80万円以内
 - (2) NPO・市民活動シンポジウム開催事業 65万円以内
 - 応募期限/10月16日(水)
- ※詳しくは次までお問い合わせください。

石川県NPO活動支援センター
〒920-0964
金沢市本多町3丁目2番15号 石川県社会教育会館4階
TEL 076-223-9558 FAX 076-223-9559

お問い合わせ先

NPO・ボランティア情報

NPOマネジメント講座(全5回シリーズ)

- 日時/
 - <能登地区> 毎週火曜日19:00~21:00
①11月6日 ②11月13日 ③11月20日 ④11月27日 ⑤12月4日
 - <加賀地区> 毎週木曜日19:00~21:00
①11月8日 ②11月15日 ③11月22日 ④11月29日 ⑤12月6日
 - 会場/<能登地区> 七尾サンライフプラザ
<加賀地区> 県社会教育センター
 - 対象/NPOのリーダーや運営実務を行うスタッフなど組織の運営に関わる者、又はこれから関わろうとする者。
 - 定員/各地区30名
- 詳しくは次までお問い合わせ下さい。

(特)いしかわ市民活動ネットワークセンター
金沢市長町1丁目3-40
TEL 076-232-6673 FAX 076-232-6674
Eメール i-net@npo.or.jp

全国ボランティアフェスティバルへの協力を求めます
平成15年に、全国規模のボランティアの祭典である「全国ボランティアフェスティバル」を本県で開催いたします。

この4月より、開催準備局を設置し、現在、地元主催者団体で「準備局」を組織し、日程や会場等を検討しています。名称も「第12回全国ボランティアフェスティバルいしかわ」に決定しました。次年度には、地元関係団体の参画で「実行委員会」を組織いたします。

保健・福祉、環境、国際交流、文化・スポーツ等、多様な分野で活躍するボランティア、NPOをはじめ、広く県民が参加し、学び、交流を深める祭典であり、これを契機に、本県のボランティア・市民参加活動の一層の振興を目指しています。

前年には、プレ大会も予定しており、具体的な企画・運営にNPOの方々の参画を期待しています。今日的な課題に沿った、地域性あふれるプログラムづくり、そして、石川県の魅力を満載したフェスティバルとするため、皆様の主体的な参加、ご協力をお願いいたします。

石川県社会福祉協議会・ボランティアセンター内
お問い合わせ先 第12回全国ボランティアフェスティバル開催準備局
TEL 076-234-1616 FAX 076-222-8900

11月18日「ボランティアフェスタ2001」開催!

昨年中央公園で開催した「ボランティアフェスタ」から1年の歳月をかけ、2001年は、時代と共に呼吸する、新しい「NPOの祭り」をお届けします。

第1部は、地域経済のこれからの担い手として期待されるNPOの可能性と実力を探り、企業人とボランティアの接点を、ビジネスの切り口から考えます。

第2部は、昨年のボラフェスで行った「ミニステージ」の拡大版です。「楽しさ」をキーワードに、参加者に情報交換やネットワークの場を提供します。

特に「NPOナイト」では未来のNPO活動の担い手、学生ボランティアによる運営を軸に行います。講義では体験できない現場に参加してみませんか?

- 実施日/平成13年11月18日(日)
- 場所/金沢プルワリーガーデン(元車交差点角)
- 実施内容

13:30~17:30	第1部 セミナー「小さな仕事をつくるボランティア」 ①CS 神戸の事例発表 ・震災ボランティアから起業支援 NPO への道のり ・起業を支援することとは何か、その課題 ②県内ビジネス系 NPO の活動報告と問題提起 ③課題の整理と解決のための支援システムづくりワークショップ。(参加無料)
18:00~21:00	●第2部 「NPO ナイト」 ①友情出演によるバンドが雰囲気を作ります。 ②情報交換やネットワークづくりをゲーム感覚で楽しめます。 ③学生ボランティアによる様々な企画が展開します。(一般参加 3,000円のチケット制)

※詳しい内容やボランティアに関する問い合わせは下記まで。
●主催/(特)いしかわ市民活動ネットワークセンター「ボランティアフェスタ2001」実行委員会

〒920-0865 石川県金沢市長町1丁目3-40
TEL 076-232-6673 FAX 076-232-6674
Eメール i-net@npo.or.jp
URL http://www.npo.or.jp/center/i-net/

お問い合わせ先

国際交流・協力DAYS 2001

- 期間/10月22日(月)~28日(日)
- 会場/リファレ1階(アトリウム)、3階、4階
- 内容/日本語・日本文化センター研修生の写真展、県内国際交流団体によるパネル展示、技術研修員・研修生・交流ボランティアの篆刻作品展示、国際交流教室壁新聞展示、ホストファミリーの募集、第2回留学経験者と集う会、外国人のための法律相談、カフェコーナー、JET 青年の各国文化紹介、日本語講座、JET 青年パラエティション、世界のダンス、文化講演会
- 関連行事/日中スピーチコンテスト
JICA 説明会
- 共催/いしかわ国際協力研究機構、JICA北陸支部
ユーロセンター金沢、金沢国際交流財団

お問い合わせ先 石川県国際交流協会事業企画班
TEL 076-222-5931 FAX 076-222-5932

共生力アップセミナー〈共に生きる社会を目指して〉

- 会場/石川県地場産業振興センター 新館 第10研修室(4階)
- 主催/特定非営利活動法人 自立生活センターハートいしかわ

第1回	10月21日(日)	講演 テーマ 「私はこう考える、障害者が自立すること」 講師 高畑英樹氏 ふくい愛の実行運動の会
第2回	12月2日(日)	講演 テーマ 「障害者運動25年、私がしてきたこと これから私がしたいこと」 講師 平井誠一氏 自立生活支援センター富山
第3回	2月3日(日)	「支え合う福祉のために~北陸の女性障がい者ほえる!! これからどうする障がい者」 と題してこれからの北陸3県の福祉に関する様々な課題について意見交換を行います。 問題提起 (特定)自立生活支援センター富山 浅木 裕美氏 ふくい愛の実行運動の会 吉田知栄美氏 (特定)自立生活センターハートいしかわ 長谷川幸子氏

- 参加対象/障がいのある方たちと共に生きる社会を目指している方 またそのことに興味のある方
- 参加費/1回500円(資料代等)
- 参加申込/それぞれ1週間前まで

特定非営利活動法人 自立生活センターハートいしかわ
お問い合わせ先 〒921-8021 石川県金沢市御影町8番32号
TEL & FAX 076-242-1172

助成金ニュース

【みんなの森づくり活動助成】

- 対象団体/国内で活動する団体・グループ(町内会、自治会、学校などを含みます)
- 対象分野/住民による、都市部または都市近郊での活動で、地域社会に寄与するもの
・広場、公園、福祉施設、空き地などでの植樹や樹木の管理といった、緑を増や



NPO 活動支援センター「あいむ」がオープンしました。NPO やボランティア、県民の皆様方に、気軽に利用していただけるよう、「あいむ」のスタッフ一同、明るい雰囲気づくりなどに努めています。ご意見やお気付きの点がございましたら、ご遠慮なく「あいむ」までご一報、又はその場でスタッフに声をかけてください。皆様方のご希望に沿えるよう、工夫を重ねてまいります。

- し育てる活動・里山や雑木林などの保全と復元活動・公園緑地などにおける、住民と地方公共団体等のパートナーシップによる緑を増やし育てる活動
- 支援金額/100万円を上限 25件程度
- 募集時期/平成13年10月31日(水) 必着

〒102-0083
東京都千代田区麹町1-6 相互麹町第2ビル8F
お問い合わせ先 財団法人都市緑化基金「みんなの森づくり活動助成」係
TEL 03-5275-2291 FAX 03-5275-2331

【介護雇用創出助成金】

- 対象分野/介護分野での新サービスの提供等を行うため、必要な労働者を雇い入れる事業主で、改善計画及び助成金申請計画を県知事に提出し、認定をうけるなどの要件を満たしたものの
- 支援金額/1.介護人材確保助成金 新規雇用者の賃金の1/2(1年間)助成6人限度(短時間被保険者は1/3・0.5人換算) 2.介護能力開発給付金 費用の3/4(1人1コース10万円限度)及び研修期間に支払った賃金の3/4 3.介護雇用管理助成金 経費の1/2(10万円以上、100万円限度) 4.介護雇用環境奨励金 75万円~1,500万円(1件20万円以上)

お問い合わせ先 (財)介護労働安定センター石川支部
金沢市高岡町3-20
TEL 076-260-1561

「あいむ」からのお知らせ

- NPO活動支援センターの開設に伴い、このコーナーの名称を、「『あいむ』からのお知らせ」に変更しました。
- これまでNPO推進室で行っていたNPO法人の認証申請に関する相談は、「あいむ」で応じていますので、お気軽にご相談ください。
- 本誌に関するご意見、ご要望をお寄せください。お寄せいただいたご意見等は、制作に生かすほか、本誌に掲載してまいりたいと考えています。

INFORMATION利用案内

- 本誌は6月、9月、12月、3月の年4回発行する予定です。情報掲載希望の方は、おのおの前月の15日までに、事業の概要(企画書、チラシ等)を郵送、ファクシミリ等でお送りください(その際には、「いしかわNPOニュース」掲載希望とお書き添えください)。
- ファクシミリの場合は、送信後かならず着信の確認をしてください。
- 政治、宗教、営利を目的とする活動は掲載できません。
- 誌面の都合により、お寄せいただいた情報を掲載できない場合があります。また、事前に掲載の可否の連絡はいたしませんので、ご了承ください。
- 掲載料は無料です。
- 送り先: 石川県NPO活動支援センター「あいむ」
〒920-0964 金沢市本多町3-2-15 石川県社会教育会館4階
TEL 076-223-9558 FAX 076-223-9559
担当/山下・奥



石川県NPO活動支援センター
「あいむ」
〒920-0964 金沢市本多町3-2-15
石川県社会教育会館4階
TEL 076(223)9558 FAX 076(223)9559
http://www.pref.ishikawa.jp/npo
Eメール npo@pref.ishikawa.jp